

HOHOEMI

28



2019.09 – 2020.08



SOROPTIMIST®
Investing in Dreams

国際ソロプチミスト淡路



新理事会メンバー「一年間よろしくお願いいたします」に始まり、会長交代のご挨拶を淡路信用金庫 石村 健 理事長、竹内 通弘 洲本市長、守本 憲弘 南あわじ市長、門 康彦淡路市長にさせていただきました。その折、私たちの活動にご理解とご協力を頂いていることに感銘をいたしました。

さて、奉仕活動と共に会員増強はクラブの重要課題ですが、2月には新会員として、高島久美子さんをお迎えすることが出来ました。それはソロプチミスト誓約にある「奉仕の尊さ」「真摯なる友情」をモットーに、メンバーシップ委員会、理事会メンバー、そしてS I淡路の会員、全員で取り組んだおかげで喜びもひとしおです。

しかし、その後予期せぬことに新型コロナウイルスが蔓延し、兵庫県も緊急事態宣言が発令されました。この危機を乗り越えるため、地域社会や会員の健康を考慮して4月、5月の例会を休会とし、4月開催予定のチャリティゴルフは延期~中止の措置を採りました。

また、6月開催予定の「親と子のふれあい広場」もやむなく中止としました。この間、行動が制約され外出自粛の中、ソロプチミストとして『何をするべきか?』『どうしたらよいのか?』と自問自答の日々に迅速果敢な行動が出来ませんでした。しかし期末には『洲本さくらプロジェクト2025』に寄付金の贈呈ができ「偉業達成の喜び」を会員と分かち合い、会長の任務を終えることができました。次期、正本日登美会長の若さと実行力に期待し、より高みを目指すS I淡路にしていきましょう。一年間の感謝の気持ちを込めて御礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



奉仕プログラム委員会

委員長 平川 紅仁子

2019 年度 ①ユニセフ外国コイン募金に協力 ②国際ソロプチミスト淡路賞に値する島内高校生を探す ③淡路島ゆかりの偉人を子ども達に伝えていこう！の3つの目標を立てました。新型コロナウイルス感染症の影響も有り余り活動が出来ませんでした。アスリートネットワーク in すもと他5団体に支援する事が出来ました。また、ユニセフ頒布品の販売と外国のコイン・紙幣の募金にご協力をいただき送金することができました。ありがとうございました。

6月に予定しておりました「親と子のふれあい広場」とDV防止、児童虐待防止啓発活動も新型コロナウイルス感染の終息の見通しがつかず開催を見送りました。一番大きな奉仕事業でもあり、なにより子供達が楽しみにしていたのでとても残念です。



「ガールスカウト兵庫県第2団支援金贈呈式」

2020年4月11日(土) 千福寺

イギリスで発祥したガールスカウトが2020年に日本発足100周年を迎えます。ガールスカウト兵庫県第2団は、昭和33年から63年間活動を続けています。

2020年度4月新入団4名、ガールスカウト42名、成人会員25名、合計71名で活動しています。今年度は残念ながら、3月29日に予定しておりました入団・フライアップ式が中止となりましたが、4月11日に洲本スカウト団、団本部千福寺に於いて森敦子団委員長他4名参加の下、支援金の贈呈を行うことが出来ました。



国際親善と理解活動委員会

委員長 横井加織

今期は、思いかけずも国際親善と理解活動委員会の委員長を仰せつかりましたが、カレンダー案作成も終わり、今期の始まりを待つばかりでしたので、突然の委員長交代で驚いた次第です。過去にIGU委員長の経験がありましたので、それを活かし粛々と務めました。今期は、島内在住外国人のためのサロンのようなものを開くことを考えていましたが、その数を調べるに留まり、次期に申し送ることになりました。

ソロプチミストシンフォニーの伴奏のラジカセのセットに関して理事会の方に大変お世話になりましたこと、深くお礼申し上げます。



アワード委員会

委員長 武田 須也子

今年も前年度同様、関西看護医療大学に「大学女子学生支援金」をお贈りするのにふさわしい方のご推薦をお願いし、12月には湯口なつ子様をご推薦いただきリジョンに提出いたしました。

年明けからコロナが流行し、淡路島初のコロナ患者が仮屋から出、患者の出た部落は村八分の様な状態で想像以上の恐怖でした。勿論千年一は早々に休業。何処へも行かない！動かない！を夏まで実行しました。

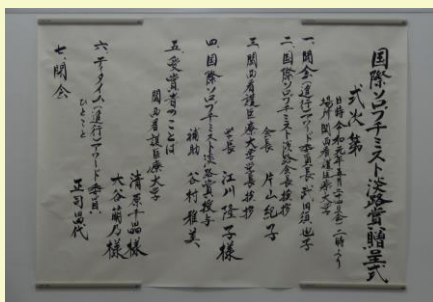
淡路賞の贈呈式も全て三根会員を初め、小谷・正司会員にお世話になった一年でした。本当にありがとうございました。 感謝



「アワード贈呈式」

江川 隆子

賞状を渡された学生及び関係者は表彰状の内容に感激致しました。それは、特にこのような医療情勢の中で、研究者とこれから看護師になる者への応援と勇気を与えてくれる心温まる言葉で綴られていたからです。



「女性研究者賞」 関西看護医療大学准教授 西村由美子 様

関西看護医療大学に勤めて10年目にこのような賞を頂き、私自身の大きな励みとなりました。今後、益々、学生たちの成長と地域の皆様の発展に寄与すべく尽力したいと決意を新たにしています。

最後になりますが、ご支援をくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。そして、素晴らしい国際ソプロチミスト淡路のご支援に対して、看護師としての責任と誇りを持って活躍する人材の育成に一層努力してまいります。



「学生ボランティア賞」 東北復興ボランティア代表 嶋崎佑紀 様 (関西看護医療大学4年生)

この賞は、2013年から引き継いできた私たちを含め、これから災害支援に興味を持ち東北ボランティに参加する後輩たちへの励みになると感謝しております。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックで世界中が揺れ動いています。そのような時代に保健・医療の現場を担い社会に貢献できる看護師になるように今後も一層努力して行きます。



「大学女子学生支援金」 湯口なつ子 様 (関西看護医療大学2年生)

この賞は、私が在宅医療を支える訪問看護師になるという夢に向かって勉強していることへのご褒美だと心から感謝申し上げます。これを励みに一層勉強に努め夢に向かって邁進いたします。



スポンサーシップ委員会

委員長 北平 としみ

「柳学園Sクラブ 31thXmasコンサート」

2019年12月22日(日)

第31回目となる、蒼開中高ジャズバンド部の「Xmas Fun Fun Concert」が洲本市文化体育館文化ホールにて開催されました。受付横では、OBの方の素敵な演奏で出迎えてくださり、同時開催で美術展も展示され日頃の成果を感じとることができました。

会場は大勢の人で盛り上がる中、コンサートは一気にクリスマスモードで素晴らしい音色を一人ひとりが一生懸命奏で練習の成果を出している姿に感動しました。また、ゲストのラテンパーカッションの伊波さん、スペシャルゲストのドラムス海老沢さんが部員と一緒に共演し、楽しく素晴らしい演奏を聞かせてくださいました。

日々練習を重ね、楽器を通じて感動をあたえられることは素敵な事と思います。部員も少し減ってきたようにも思われますが、日々精進されるジャズバンド部を応援しています。来年も楽しみです。



「柳学園Sクラブ支援金贈呈」

仲野 弘子

2020年8月21日(金)

柳学園Sクラブ支援金贈呈のため、学校法人柳学園 蒼開中学校・高等学校ジャズバンド部の部室を訪問しました。今現在の部員は29名、中学1～3年生、高校1～2年生のメンバーで練習しています。高校3年生は受験のため、勉学に励んでいるそうです。

8月15・16日に開催予定だったスチューデントジャズフェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない状況により中止になりましたが、8月23日神戸文化ホールで開催されるKOBE JAZZ SUMMER FESTIVALでは出場し、演奏されました。10月18日にはラジオ関西が学校へ来られ、ジャズバンド部の活動が発信されるそうです。

濱会長の挨拶で「私たちのように大人になった時には、ここに居る仲間との思い出は大切な宝物になっていることでしょう。」とのメッセージを投げかけ贈呈が無事に終了しました。

純情可憐に演奏をする彼、彼女達の将来が楽しみです。



財務委員会

委員長 木下 壽子

あっという間の二年間でした。一年目は、修正収支予算書（案）の作成することすら忘れていました。

委員会の方に教えて頂き、慌てて委員会を開き、修正収支予算書（案）を作成した事を思い出します。今までは、委員会の方が作成して下さいのものを何も考えず審議をしても、ただ賛成と言ってましたが、いざ自分が財務委員長となり作成するにあたり、為替レートは何円で換算するのか、連盟年会費は新会員連盟会費、連盟新会員入会金、国際年会費、一から勉強することが多々ありました。

リジョン大会、分科会の参加見込みは何人にすればよいか、本当に何も気にせず審議に参加していた自分が恥ずかしく思います。今までの財務委員会の方々に頭が下がります。勉強させて頂き、本当に良かったと思っています。ありがとうございました。



規約決議委員会

委員長 岡田 恭子

2年間の規約決議委員会委員長を終えホッとしています。

時代の流れと共に規則や財務の扱いは、変化していくものと思いますが、この2年間でも随分と変化がありました。それらを委員会メンバーが集まり検討し修正したものを、案として作成し、一年に一度リジョン規約決議委員会にクラブ細則を送りチェックを受けます。

他にもクラブ手続、財務規定を管理し、今期は財務的に金額面で時代に則したものに目直し、例会で採決された事項の修正を行いました。新たに冊子に纏める予定でしたが未だ流動的ですので来期に引き渡します。

常日頃規約等を見る機会も少ないと思いますが、規約に目を通してみると思いもかけず、へえ～ そうなんだ！と感じる事があると思います。まず規約を見る事。そうすれば例会の審議について興味と理解が増す事でしょう。



SOLT委員会

委員長 檜本 揚子

委員長としての2年間の任が漸く終わりました。今期は6月入って新会員と5年未満の会員研修をメンバーシップ委員会と合同で淡路インターナショナルホテル ザ・サンプラザで行いました。委員会は日程表に沿ってスムーズに進行出来ました。研修後は短時間でしたが茶話会の時間をもち意見交換も出来ました。また、次期理事会研修も新理事会の委員会前の時間を割いていただき開催出来ました。さらに次期委員会委員長研修は、7月例会後の会場で行うことが出来ました。

日程の調整に苦労しましたが、ご協力有難うございました。



メンバーシップ委員会

委員長 山岡 仁美子

「新会員入会式」

2020年2月13日

国際ソプロチミスト淡路認証から、早や34年が経過しました。近年社会情勢が大きく変化し、どの奉仕団体も会員維持には悩ましい限りです。そんな中、嬉しいことに高島 久美子新会員をお迎えする事が出来ました。期首の9月より委員会活動を積極的に始め、勧誘を薦めた結果、今年2月例会で「新会員入会式」が出来ましたことは、クラブとして大変喜ばしいことでした。高島会員は現在洲本市市議会議員として活躍しておられる方ですので、我々会員も共に学ぶ機会も多いだろうと大変期待しております。国際的な奉仕組織の一員として“一人で行えることは限られるが、多くの仲間と一緒にすることで可能性が大きく広がる” 今期は世界中で新型コロナウイルスが蔓延し、例会は中止が続き、行事の機会も少なく終了してしまいましたが、どうぞ真摯なる友情でよろしくお願い致します。



出席委員会

委員長 清木 なぎ子

2018～2019年度2年間、出席委員長を務めさせていただきました。

欠席届、無届欠席や遅刻の扱い、それに伴うペナルティ等々、今まで知らなかったことが沢山ありました。出席委員会についてのミニスピーチがきっかけで改めて見直す事ができました。出席率が、その会議の成立や表決時の投票有権者数の把握のためにも、とても大事なのだということも認識できました。

誕生月の会員へのプレゼントを準備するのも出席委員会の仕事です。それぞれの会員の好みに合わせることは出来ないものの、プレゼント選びも楽しいものでした。また、すべての例会に出席した会員には、皆勤賞の表彰状を作ります。これには副賞としてのプレゼントがあります。予算は限られていますが、何歳になってもご褒美は嬉しいものです。

例会時には皆様の素敵な笑顔を会場の入り口で真っ先に見ることができます。これはこの委員会の特権かもしれませんね。いい経験をさせていただきました。ありがとうございました。



歳入委員会

委員長 楠 日出子

国際ソロプチミスト淡路に入会させて頂いてから、早や5年半以上が経ちました。その間、一年間のスポンサーシップ委員会を担当した以外は、全て歳入委員会委員でした。

初年度は、福原会員が歳入委員会委員長で、何事も初めての事ばかりで戸惑う私に、優しく様々なことを教えて下さいました。振り返りますと、その当時はとにかく売上を伸ばす事が最重要課題で、委員会全員で知恵を絞り、知り合いを訪ね、物品を少しでも多く揃えなければと、奮闘し調達していたことを思い出します。

しかし、私が歳入委員会の委員長になった、この2年間で随分と様子が変わってきたのを実感しています。年間の会費以外の出費が多く、負担であるとの声が多く寄せられるようになりました。例会時の物品販売も、そんなに再々で無くても良いのではないかという声も聞こえてくるようになりました。

歳入委員会は、当日までの物品の準備、そして当日の販売や収支決済等、かなり煩雑な委員会活動です。回数も含め実施の仕方など、その折々で考え、変化していけば良いのではと思うのが現在の感想です。



ファンダーガバナーデー

高津 信子

千嘉代子ファンダーガバナーはとてものにこやかでした。お写真と同じで、いつも微笑んでいらっしゃいました。

日本リジョンの初代ガバナーで、100クラブ達成に感涙されたそうです。明治30年10月6日仙台でお生まれになりました。茶道会の今日の隆盛に努力され、ソロプチミスト奉仕活動に努力なされました。

素晴らしい功績を讃え、お祝いいたしました。



指名委員会

委員長 片山 紀子

今年度は新型コロナウイルス感染を鑑み、4月5月の例会は書面決議となり、指名委員会も書面で三根委員、仲野委員、片山と3名任命され、発足の運びとなりました。

例会も開催できない中での理事メンバー選出には困惑しましたが、「案ずるよりは生むが易し」で各役職の指名を快く引き受けて下さいました。

7月の年次会合では晴々とデレゲート及び理事メンバーの就任式を執り行いました。

第35期S I淡路は節目の年となります。正本会長、理事会の皆様の下、会員の真摯なる友情を以て奉仕活動を進めて参りましょう。



ソロプチミスト日本財団委員会

委員長 木下 圭子

今期も 関西看護医療大学の助教授西村由美子さんと同「東北復興ボランティア部」を応募申請いたしました。選外でございました。残念です。しかし、淡路島に大学がなかった頃は応募さえできませんでした。淡路島に大学を設立することは経済界の悲願でした。

女性の社会進出が活発になった昨今、目を見張るものがありますが、特に今後も進むであろう少子高齢化社会において、益々看護師の存在と活躍が幅広い分野から期待をされていると思います。

新型コロナウイルスが猛威をふるう今、看護師、介護士の存在は患者の生死を分けると言っても過言ではないように思います。私たちは心から医療現場の皆様に感謝の気持ちを持つことが大事だと思います。

ソロプチミスト日本財団委員長になり、関西看護医療大学を通して未来の淡路島の在り方を考えさせられた2年間でした。ご協力誠にありがとうございました。



日本財団年次贈呈式

三原 潤子

2019年10月9日

2019年度贈呈式の会場は京都「みやこめッセ」で開催されました。

創立40周年の記念事業として特別に女性研究者賞を2名に贈呈されました。そのお一人、田川美穂さんは子供を育てながら物理が好きで化学の発展のために邁進してきました。若い後輩の研究の励みになればと賞の感想を話されていました。

それから、ドリーム賞の吉田都さんはバレエが好きで英国に留学、ロイヤルバレエ団で主役をされるまで成長しました。若い方々に「夢はかなう」チャレンジしてほしいと言っていました。

そして、受賞者の方々の行動や思いに感動しました。

ソロプチミスト日本財団の贈呈式はいつも受賞者の方々のお話に胸が熱くなります。

もう一つの楽しみが、美味しいお店のランチと車中での楽しいひと時でした。



2019年度会長エレクトに任命され、次期会長として会長職に就く準備のため出来る限り会長と行動を共にし、協力して補佐してきました。

3月頃から新型コロナウイルス感染問題が拡大していき予期せぬ初めての出来事に戸惑うばかりでした。この時、ビジネス用語でよく使われる「ほうれんそう」報告・連絡・相談が理事会内での最も重要で大切な事だと感じました。

今また感染拡大が再燃してきている中、2020年度がスタートします。5月7日に宮脇テル子ガバナーが発信されたメッセージ「困難な今をプラス思考で過ごしていきましょう。」という気持ちで、新しい理事会メンバーと協力しながら、私らしい会長でありたいと思っています。

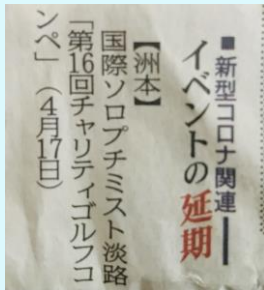


任を終えて・感謝しかない

副会長 泉 栄子

2019年度の国際ソロプチミスト淡路の理事会に入り、副会長として、また自ずと付帯してくる会合企画委員長とチャリティ事業委員長という重責に、押し潰されながら、コロナ禍の下、この一年を打ち過ごしてきた。それぞれの生業の中でプロとしてその役割を果たされている上に、尚且つ奉仕の精神をもち、社会貢献されているというとんでもない方々の組織であるという事を再確認させられ、自己の非力を痛感した。幸い天の神様が味方してくださったのか、なぜだか周囲の方々には恵まれる私でもある。

濱会長はじめ、理事会メンバー、そして委員会の皆様には、大変多くの場面で最良のアドバイスを頂き、支えて頂いた。この一年は、多くの問題解決の場面を与えられ、戸惑うことも少なくなかったが、「ソロプチミストという有形無形の畏怖する存在」との距離感がぐっと縮まった一年でもあった。



理事を経験して

理事 江川 隆子

理事は、「クラブの円滑な運営とその発展、成長をもたらす諸活動を計画する重要な役割を担う」と言う役割が課せられていますが、実際にこうした役割を果たしたかどうか疑問です。しかし、私自身が数年前からクラブの改革を言ってきた手前もあり、それがよかったのかわかりませんが理事会でも和気あいあいと意見交換ができたと思っています。



自身の反省をこめて、皆様にお願ひです。今後このクラブが存続するためには、SOLT-BOOKを遵守しながらも、会員の多くは他に重要な役職や役割をもっていることを忘れないで欲しいのです。このクラブの中の役職は何年経験し、続こうと奉仕の域をでません。従って、クラブでの役割でもたついたり、間違ったりすることは言い訳ではありませんが、あって当然のことです。出来る人が補うという精神でなければこのような奉仕の会は存続できないでしょう。

私自身もこのクラブに所属する限り、この精神を持って頑張りますが、年齢には勝てないこともあります。「教える・指導する」と言った精神の根底には、補い合い・助け合い心があらねばなりません。広い心で我がクラブを盛りたてましょう！

セクレタリーの任を終えて

セクレタリー 谷村 雅美

入会して6年になります。理事会の仕事を受けたのは、3度目になりますが、セクレタリーの仕事をこなせるのか、不安で自信がありませんでした。例会の司会進行に記録、議事録の作成など自分がやってみて、改めて大変さを知りました。

今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、理事会や例会の中止など、前例のない事に戸惑いましたが、色々な事を学ばせて頂きました。理事会メンバーにも恵まれ、助けて頂きながら任務を終える事ができました。本当にありがとうございました。

任を終えて

C.セクレタリー 正司 昌代

「さあ！そろそろ取り掛からなければ！！」

毎月 理事会、例会が近づくと焦りだします。会のための資料を準備するのが、主な役目。議事日程(案)と照らし合わせながら、必要な資料を会員分コピーし、揃えます。

単調な作業ですが、思いのほか大変です。リジョンメールは各自プリントアウトして下さるので、以前よりは随分楽になり、ありがたさを痛感しました。他クラブからの郵便物(案内)を整理し、回覧を準備。必要性に応じて、返信する。・・・会の資料が揃ったところで、会員名が記された個々の封筒に会員の方のお顔を思い浮かべながら入れていきます。会が無事に終わりますようにと思いをこめて。

周りの方に助けていただきながら、一年を過ごせました。感謝です。



トレジャラーを経験して

トレジャラー 小川 はるみ

2019年4月のリジョン大会の日に指名委員の方より突然に来期の理事会でのトレジャラーの大役を依頼されました。その場でお引き受けはしたものの、日が経つにつれ不安で一杯になってきましたが、S I 淡路の奉仕の為のお金を預かる立場になった以上は計算間違い等する事のないように精一杯務めようと決心致しました。

前任トレジャラーの資料を参考にしながら仕事を進めていきましたが、今回は新型コロナウイルスの感染拡大でソロプチミスト淡路としての大きな事業が次々と中止となり例年とは少し違ったトレジャラーの処理がありましたが、先輩方に教わりながら役目を果たすことができました。

トレジャラーを経験させていただいたお陰で、会員皆様の会費等が奉仕事業に役立てられ、また国際や連盟へ会費を納める事で少しでも世界への奉仕活動につながっているのだと感ずることができました。

一年間ご指導、ご協力いただきました会員の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

アシスタントトレジャラーとして

アシスタントトレジャラー 大継 淳子

今回はトレジャラーのアシスタントとして、また理事会の一員としての活動となりました。

この度はコロナウイルスで従来通りの例会や委員会活動の行事が予定通りにできなくてとても残念でした。国も初めての事なので、方針が定まらず戸惑っている様子です。私たちS I 淡路でも今までにない事を色々経験しながら、変更また中止などで理事会も対応に大変でした。まだまだ収束の見えない中これからの運営も臨機応変に対処しなければなりません。今後は会員の皆様のおおらかな心で、より良い人間関係の中で活動出来たらと思います。

一年間、会長はじめ理事会の皆様お疲れ様でした。会員の皆様には色々とお世話になり有難うございました。これからは“ビー・アラート”で活動しましょう！



新入会員



「ソロプチミスト」という響き

高島 久美子

「ソロプチミスト」、少年野球で一緒していたお母さんからその名前を聞いた時、なんて響きのいい名前なんだ、と思ったのを覚えています。そして去年の12月、あるパーティーで会員の皆様とお会いする機会をいただきご挨拶させていただいた時に、何故か私の口から「ソロプチミストに入りたかったんです」という言葉が無意識のうちに出てきて、それから2ヶ月後には先輩会員の皆様のご尽力により、晴れて入会となりました。本当にお世話になりました。

入会してから具体的な活動を知り、また実際に委員会活動なども経験し、先輩会員の皆様と少しずつ交流させていただきながら、自分のためではなく人のために時間やお金を使う事の喜び、また志を同じくする者同士の繋がり喜びを体験させていただいているところです。

この素晴らしい活動が、絶える事無く永遠に続く事を願って、これからもソロプチミストの活動に勤しんでまいりたいと思います。

日本中央リジョン広報委員を拝命して

森 敦子

昨年度、突然の依頼を受けリジョンの広報委員を不安いっぱいの中、お引き受けさせて頂くことになりました。委員長を筆頭に各地区2名ずつの委員で初委員が4名とフレッシュな委員会でした。委員長はキレッキレで委員の方々もしっかりと活動をされていて実績のあるクラブの方ばかりです。本当にソロプチミストはすごいと思うことが多々ありました。一番勉強になる分科会は残念ながら昨年度は私事、今年度はコロナ禍の為、参加が叶いませんでしたが、どちらも準備は十分していましたので、その中で委員として充実した活動ができたと思います。中でもコロナ禍の為、スカイプ（Web）会議を三度程したことは良い経験でした。また、インフォメーションや活動報告をHPにアップすることをしていた為、他クラブの素晴らしい活動を知ることができました。



コロナ禍の中、宮脇ガバナーがお亡くなりになられたことは、大変ショックであり残念な事でした。ご冥福をお祈り申し上げます。短い間でしたがとても良い経験をさせて頂き、皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

リジョン研修会に参加して

小谷 恵美子

2019年11月14日(木)

第Ⅲ地区 29 クラブ 480 名参加、S I 淡路クラブからは 16 名参加、シェラトン都ホテル大阪にて行われ、宮脇ガバナーのいつも変わらぬ歯切れの良いご挨拶に始まりました。あの日から半年後に訃報をお聞きするとは、とても残念です。報告事項に続きリジョン運営について2014年年会費減額その後会員数減と厳しい財務現状のお話。「和・輪・笑」をテーマにゆっくり時間を設けフリートークキング。10人程が1グループになり、私の参加グループは会員の維持増強の難しさ、またチャリティー事業などについて活発に意見交換をした。新しい試みで好評であった。

女性特有の、しなやかで粘り強く継続する個々の気持ちが大切であると痛感した。



SI宝塚チャリティクリスマス

平岡 恵子

2019年12月20日(金)

昨年12月SI宝塚チャリティクリスマスに始めて出席させて頂きました。パーティ開催と共にSI宝塚の主な活動など紹介されました。

一つは介助犬の育成、車イスの寄贈、エイジフレンドリシティいわゆる世界保健機関高齢者に優しい地域づくりなどすばらしい活動をされ、それに対して社会的に貢献し活躍された女性を表彰されていました。

パーティ会場では華やかな歌やハンドベル、会員の皆様が一生懸命練習された成果が会場の皆様を感動されたと思います。ゲストには世界的に有名なトロンボーン奏者の素晴らしい演奏を聴く事が出来ました。最後はビンゴゲームで盛り上がり豪華な賞品を頂き閉会の挨拶で終わりました。

同じテーブルの方とも穏やかにお話も出来て、楽しい時間でした。SI宝塚の温かいおもてなしに感謝です。



SI伊丹チャリティバザーに参加して

片山 紀子

2019年10月30日(水)

10月30日 濱会長、木下(寿)会員、北平会員、片山の4名で参加致しました。SI伊丹のチャリティバザーは、例年地域内外に人気があり今年も変わらず、大勢の人で混み合っていました。お店の数も多く高級品からお手頃な品々まで品揃いも豊富で、私達4人も食品や衣類等々買い求め、帰りの車は荷物でいっぱいとなりました。

チャリティバザーの収益金は地域社会への奉仕、福祉活動として子供ホスピスプロジェクト支援、海外支援としてはネパールサンサリ小学校への援助等、幅広い奉仕活動を通して女兒と女性の地位向上に前向きに活動されている様子が窺えました。



SI六甲認証30周年記念式典に参加させて頂いて

泉 栄子

2019年12月4日(水)

SI六甲では、1995年の1月17日の阪神・淡路大震災の翌年より、「いのち・愛・きずな」をスローガンに、チャリティ継続事業「虹のかたつむりの集い」として、コンサート・講演会・バザーなどが行われている。また、Sクラブである啓明学院中学校・高等学校と共に東北被災地支援の活動を行うなど、Sクラブと共に活動することも一年の目標として掲げておられる。

今、私の手元に30周年記念式典で頂いたポストカードがある。式典参加へのお礼の言葉と、1996年より続く「虹のかたつむりの集い」のシンボルである「虹のかたつむり」の挿絵が添えてある。明るく躍動感にあふれたこの虹のかたつむりの画は、知的ハンディキャップのある田宮佳織さんの作品であるが、圧倒的な才能をもちながらも田宮佳織さんは、残念ながら32歳で早逝されている。だが、画と共にSI六甲と言えば「虹のかたつむりの集い」と言うように、全国規模で広く周知されている。

SI六甲の会員数26名。会員の「和」を大切に地域に根差した活動が今日も、行われている。今回のSI六甲認証30周年記念式典に参加させて頂き、特に人数が多くななくても、活気に溢れた柔らかな活動ができるのだということと、会員の皆さんが楽しく取り組まれている様子が、大変印象に残っている。



大阪-東30周年式典へ参加して

正本 日登美

2020年2月27日(木)

2月27日ホテルニューオータニ大阪で行われた国際ソロプチミスト大阪-東30周年記念式典・祝宴へ濱会長と2人で参加させて頂きました。

国際ソロプチミスト奈良のスポンサーにより認証され、日本で308番目中央リジョンで85番目に誕生したクラブです。認証以来多岐に亘る活動をされています。

呈茶席へ行くと会員でもある茶道の先生がお点前され、色とりどりの着物を着た若い生徒さんが沢山居て、お茶を運んできて下さいました。式典が始まり、祝宴での能「高砂」の舞台を観ながら聞きながら気持ちよくすやすやと一時の別世界を漂う気持ちよい舞であり謡であり囃子でありました。大阪-東30周年記念に相応しい寿ぎ、祝いといっためでたさに貫かれどこまでも明るく、崇高な雰囲気になった、気品のある能です。清らかな体験をさせて頂きました。



ゴルフ同好会

平川 紅仁子

ゴルフ同好会発足後13年を経て、現在会員数12人。発足後みんなでラウンドできるよう練習して、年3回程度同好会懇親コンペ、楽しい食事会、時には宿泊して早朝ゴルフと親睦を深めてきました。姉妹クラブのチャリティゴルフコンペ等にも積極的に参加してまいりました。

今年度は、12月20日の洲本ゴルフ倶楽部第100回レディースオープン杯に向けて6名で練習ラウンドを行い、当日は2組参加いたしました。

残念ながら、今期はSI淡路第16回チャリティゴルフコンペも姉妹クラブのチャリティゴルフコンペもコロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止となり同好会の活動も自粛し寂しい年となってしまいました。

これからも練習、ラウンドを企画しゴルフ同好会和気藹々と楽しく親睦を深めていきたいと思えます。



俳句同好会

木下 圭子

「あわじ島句会のご紹介」

今からおよそ7年前の秋であったろうか？確か10月の移動例会の席であったと思う。

SI淡路会員関西看護医療大学江川隆子学長の一声であった。

「俳句を学びたい！俳句会をつくりましょう！」

「俳句をしたい方この指と～まれ。講師は三根香南さんをお願いしま～す」

山岡仁美子さんのお世話により、希望者がするすると集まり、俳句同行会が誕生。

講師の三根香南さんは、正岡子規、高濱虚子の提唱する客観写生を旨とする伝統俳句を35年余り学ばれ、現在は俳誌若葉、俳誌岬、俳誌柝の芽の同人であり結社の重鎮である。

あわじ島句会においても明快で的確な指導により、会員はめきめき俳句の魅力に引き込まれ成長著しいものがある。

コロナウイルスで交流が遮断されて久しい。地球上のすべての生物がこの新型コロナウイルスに大切なものを奪われている。特に時間である。

しかし、「俳句は一枚の紙と一本の鉛筆があればどこでも作れる」香南さんは「今こそ自然界に目を向け、たおやかに生きましょう」と声を大にして私たちにエールを送ってくださる。

現在は大継淳子さんが事務局を引き受けてくださり、月2回（バーチャル句会1回含む）の俳句会を楽しんでいる。

皆さん、ご一緒に俳句を始めませんか。



2019 年度 クラブ役員名簿

会 長	濱 裕子	
会長エレクト	正本 日登美	
副 会 長	泉 栄子	
セクレタリー	谷村 雅美	正司 昌代(コレスポンドイング)
トレジャーラー	小川 はるみ	大継 淳子(アシスタント)
理 事	片山 紀子(1年)	江川 隆子(2年)
デレゲート	平川 紅仁子(1年)	武田 須也子(2年)

1年間お疲れ様でした

2020 年度 クラブ役員名簿

会 長	正本 日登美	
会長エレクト	北平 としみ	
副 会 長	平川 紅仁子	
セクレタリー	横井 加織	
	平岡 恵子(コレスポンドイング)	
トレジャーラー	森 敦子	
	楠 日出子(アシスタント)	
理 事	濱 裕子	正司 昌代
デレゲート	武田須也子(1年)	江川 隆子(2年)

よろしくお願ひ致します



編集後記

委員長 三根 香南

前期の委員から今期の委員長へとスライドさせて頂き、得意の分野と意気込みお引き受けしました。が、さて広報委員会の仕事は地元の新聞社との対応やクラブのPRに留まらず、中央リジョンのHPの更新だとか、その他、高度なパソコンの技術が必要だと判り、正本担当理事におんぶに抱っこ有様でした。

また、「お誕生日おめでとう」コーナーも会員の皆様から原稿を頂いたものの、四苦八苦の一年でした。でも自分なりにはよく出来たと、85点満点の85点を付けています。

本会期の途中から新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい、東京オリンピック開催も延期になりましたが、会員一同元気で奉仕活動が出来、クラブの新しい歴史の階段を一段昇ることが出来ました。

最後に会員の皆様の玉稿を台無しにしない為にも「HO HOEMI」の編集に向けて、委員会一致団結し100点満天を目指します。

第28号の会報が会員の皆様にとって記憶に残る一冊でありたいと願っています。



広報委員会一同(三根委員長・正本・仲野・高島)

